

WORKTECH™ Tokyo

WORK / WORKPLACE / TECHNOLOGY / INNOVATION

EXPLORE THE FUTURE OF WORK AND THE WORKPLACE

開催日時・会場：2023年12月6日(水) 9:00-16:15

赤坂インターシティコンファレンス ※日英同時通訳付

EVENT SPONSORS

PLATINUM SPONSORS



KOKUYO

GOLD SPONSOR



SILVER SPONSOR



BRONZE SPONSORS



Worker's Resort

SUPPORTED BY

WORKTECH ACADEMY

主なトピック紹介



ハイブリッドワークとインクルーシブ・ワークプレイスとは：

当カンファレンスでは、リモートワークと対面要素を組み合わせたハイブリッドワークにフォーカスし、進化する仕事の本質について取り上げます。ワーカーの多様なニーズに対応する為のインクルーシブなワークプレイス構築の戦略とは。ハイブリッドワークモデルのダイナミクスと建築・都市計画・ワークプレイスデザインに及ぼす影響について考察します。

サステナブルな不動産開発のための戦略的デザインとは：

特に建築と都市計画の文脈において、不確実な時代に適応する上で戦略的デザインがどのように重要な役割を果たすのか掘り下げていきます。スピーカー陣は、刻々と変化するリクエストに対応できるサステナブル且つフレキシブルな空間設計を行うことへ重要性について語ります。



現代のワークプレイスにおけるイノベーションとテクノロジーとは：

現代のワークプレイスを向上させるため、テクノロジーと物理的なオフィス空間との統合を行う重要性について考察します。テクノロジーがどのようにワークエクスペリエンスを向上させ、ハイブリッドコネクティビティを促進し、サステナブルと効率化を促進できるのかディスカッションを行います。テクノロジーを活用し持続可能性と業務の効率化を向上させるグローバルプロジェクトの事例をご紹介します。



未来を見据えたワークプレイス戦略とは：

当カンファレンスでは、先進的なグローバル事例を取り上げ、ポスト・パンデミックのワークプレイス戦略をデザインするための実行可能な考察を提供します。



EVENT FORMAT



当カンファレンスは、一連のスケジュールで行われ、参加者は全てのスピーカーのプレゼンテーションにご参加が可能です。登壇と並行し、エデュケーションパートナーとのネットワーキングの場としてキュレーションされたイノベーション・エキシビションを同時開催します。また、参加者同士のネットワーキングの場として、途中2時間の休憩時間を設けています。無料のランチご提供の他、軽食が提供されますので終日滞在可能です。尚、当カンファレンスでは、全てのセッションに日英同時通訳が付いています。

MEET THE SPEAKERS



スピーカー陣は、世界トップクラスの国際的な思想家・産業界のストラテジスト・先鋭的なビジョナリーの方々であり、現在最も成功している企業・先進的で影響力のある組織より、登壇します。

世界のあらゆる企業が、ここ数世代で最大の働き方改革に直面する中、当イベントは仕事とワークプレイスの変革の本質に関心を持つ全ての方にとって不可欠なカンファレンスです。

Seiichi Arai (荒井 聖一), Hybrid Work Solution Specialist, Cisco Systems (シスコシステムズ)

Fred Holt (フレッド・ホルト), Partner, 3XN

Yuki Kanamori (金森 裕樹) WORKSTYLE RESEARCH LAB, Workplace Researcher and Editor, Kokuyo [コクヨ株式会社]

Jawn Lim (林智兴), Design Futurist and Associate Professor, Singapore Institute of Technology (SIT)

Elvira Muñoz (エルビラ・ムニョス), Director of Interiors | EMEA Interior Design Practice Leader, AECOM, IE University

Alessandro Ranaldi (アレッサンドロ・ラナルディ), Head of Workplace Consultancy, Foster + Partners

Kiyohito Yamamoto (山本 清人), Manager, NTT Communications Corporation (NTTコミュニケーションズ株式会社)

登壇者プロフィール



荒井 聖一

シスコシステムズ合同会社 ハイブリッドワーク ソリューションスペシャリスト

企業の働き方改革、DXに関して、長年にわたり複数のテクノロジー分野を跨ぎ、コンサルティング、設計、実装まで含めた取り組みを行う。

Ciscoにおいては、Hybrid Workソリューション・スペシャリストとして、テクノロジーを活用した従業員エンゲージメント、ビジネスアジリティ、そして持続可能性の向上をもたらす、ワークスタイル デジタル変革のためのソリューションを推進。



Fred Holt フレッド・ホルト

3XN Partner

2010年より3XNに入社。現在は3XNオーストラリアを統括し、シドニーの新しいフィッシュマーケット、UNSWの新しいアカデミックビル、メルボルンにある商業オフィスタワーなどの国内の幅広いプロジェクトだけでなく、福岡県にある現在建設中の65万平方フィートのオフィス開発を含むAPACの開発など、3XNのプロジェクトを多く手がける。シドニーにある1970年代の商業オフィスタワーを改築したQuay Quarter Tower開発では、コンペから竣工までデザインリード兼パートナーを務めた。フレッドは、様々なビルのタイポロジーに通じた自らの経験に基づき、デザインと“ノウハウ”の適切なバランスを持った専門知識をプロジェクトに提供。ハーバード大学デザイン大学院で建築学の修士号を取得。



金森 裕樹

コクヨ株式会社 WORKSTYLE RESEARCH LAB, Workplace Researcher and Editor

オフィス構築のコンサルタントとして活躍すると同時に日本でオフィス関連の権威ある研究誌「働くしくみと空間をつくるマガジンWORSIGHT[ワークサイト]」の編集を担当し、海外の先端ワークプレイスのリサーチを担当する。オフィスのみならず、大学など教育空間、官公庁など行政機関、図書館をはじめとする公共空間、コワーキング等サードプレイスなど働くに関わる多種多様な空間を幅広くリサーチ。ワークサイトの取材で得られた知見やトレンドを発信するセミナーをシンガポール・バンコク・クアラルンプールなどアジア7都市にて定期的実施。2019年にワークプレイス・コンサルティングを専門で教えるIE School of Architecture & Designの修士課程を修了。



Jawn Lim 林智兴

Singapore Institute of Technology Design Futurist and Associate Professor Singapore Institute of Technology

シンガポール工科大学の未来デザインとイノベーションの准教授であり、未来学者のプロフェッショナルである。また、銀行業務からサービス業までの企業のコンサルティングも行う。ブランディング、デザイン、テクノロジーアワードの審査員を度々行うと同時に、シンガポール生産性センターの最高デザイン責任者、およびシンガポール工科大学のメディア・アート・デザインスクールの理事会顧問も務める。以前は、Arquitectonicaとプリツカー賞受賞者のフランク・ゲーリーの建築デザイナーであり、マサチューセッツ工科大学(MIT)において、経営・イノベーション・テクノロジーの上級認定資格を取得し、ハーバード大学でデザイン博士号を取得。



Elvira Muñoz エルヴィラ・ムニョス

AECOM, IE University Director of Interiors | EMEA Interior Design Practice Leader

AECOMにおいて、エルビラはクライアントにとっての最適なデザインソリューションを追求する為、サービス向上の方法を常に模索し、機会を最適化、制作プロセスに関わる全ての人に納得のいく結果を探索。

建築家、インテリアデザイナー、コンサルタントからなる高いスキルを持つ熟練且つ柔軟なチームを結成し、世界のあらゆる地域の企業、ホテル経営者、大学などへ高品質のデザイン・ソリューションを提供し続けている。

提供したデザインが何年経っても常に適切であり続け、組織と共に進化し、才能を輝かせる有意義なワークプレイスの環境設計と構築を支援することに最大の関心を持っており、エルビラのチームが提供したデザインを、クライアントが新たな方法で適応させ、カスタマイズし、創造的な進化を発見したときこそが、エルビラの考える優れたプロジェクトの最高のデザインプロジェクトである。

登壇者プロフィール



Foster + Partners

Alessandro Ranaldi アレッサンドロ・ラナルディ
Foster + Partners Head of Workplace Consultancy

Foster + Partnersのワークプレイス・コンサルタントの部門責任者として、才能豊かな学際的チームを統括。ワークプレイス戦略、不動産、デザイン分野において25年以上のキャリアを持ち、フォーチュン誌が発表する"Fortune500"に名を連ねるトップ企業のリーダーシップチームと協働し、ビジョン策定、ワークプレイスへ変革へのオーナーシップの構築、社員同僚のエクスペリエンス、エンゲージメント、ビジネスパフォーマンスの向上を支援。また、IEDやミラノ工科大学においてワークプレイス戦略の指導も行う。



NTT Communications

山本 清人
NTTコミュニケーションズ株式会社

コワーキングスペースをはじめ、全国700カ所以上に多様なワークプレイスを提供するフレキシブルオフィスプラットフォームサービス「droppin」のプロダクトオーナーを務めるほか、全国のコワーキングスペースを体験し、ワークプレイスの探求を行う。また、企業におけるワークケーション活用の実態など、日本型ワークケーションの探求・実践を行い、2021年より鎌倉ワークケーションウィークの促進、2023年より一般社団法人日本ワークケーション協会の公認コンシェルジュとして、日本におけるワークケーションの認知向上に取り組んでいる。



HID

長窪 健也
HIDグローバル 日本セールスマネジャー フィジカルアクセスコントロールソリューションズ (PACS)

大手製造業グループにて北南米、欧州、東南アジア、中国及び日本において15年間以上のデータ通信ネットワークインフラ構築に従事。開発設計、物流、販売、保守サポートシステム導入に従事。インドネシア共和国において6年間のITサービス会社経営を経験。2020年HID入社後、PACS事業部の日本地域セールスマネジャーとして新規顧客開拓、新規販売代理店との契約及び日本での技術提携パートナーを獲得。スマートホンを使ったシームレスで安全なドア開錠システムHIDモバイルアクセスをより多くの日本のお客様にご紹介すべく活動中。

WORKTECH™ ACADEMY

WORKTECH Academyは、仕事の未来とワークプレイスを探求する、世界有数のオンラインプラットフォーム且つメンバーネットワークであり、

世界をリードする知識が集結しています。世界ハイレベルのプロフェッショナル達とのグローバルコミュニティにより、最新のインサイト、リサーチ、ケーススタディ及び専門家へのインタビューを共有します。

WORKTECHグローバルネットワークを活用し、People(人材)、Place(働く場所)、Culture(企業文化)、Design(デザイン)、Technology (テクノロジー)、Innovation (イノベーション) の6つの主要分野において

WORKTECH Academyでは最新の知識とアイデアを収集することが可能です。

09:00 | 受付開始

09:30 | オープニング WORKTECH主催者挨拶・ホストパートナー御挨拶

Isabel Dewhurst-Marks イザベル・マークス, Managing Director, **WORKTECH Events**, **UNWIRED Ventures Ltd**
 コクヨ株式会社 **WORKSTYLE RESEARCH LAB**, Workplace Researcher and Editor
 金森裕樹



09:40 | ハイブリッドで働く未来のマグネットシティとは

Alessandro Ranaldi アレッサンドロ・ラナルディ **Foster and Partners**
 Head of Workplace Consultancy
Foster + Partners

ここ数年、建築や都市計画の世界では、不確実性が戦略的なデザイン設計の決定権を支配するようになりました。より包括的、持続可能でハイブリッドなLIVE WORKモデルが求められている一方で、多くの組織は、このハイブリッドワーク時代に社員同士の集団的アイデンティティの感覚を確立し、維持する方法を未だ模索しています。現代のワークプレイス、つまり私たちが生活し仕事をし遊ぶ場所を定義する特徴は、非常に流動的です。当セッションでは、新たなトレンドとそれが社会の未来をどのように形作るかを理解しようとする中で、世界中のクライアントベースの要求に応えながら進化している実践事例の新しいアプローチを紹介します。

10:25 | 不確実性に対するデザインとは

Elvira Muñoz エルビラ・ムニョス
AECOM, **IE University** Director of Interiors | **EMEA Interior Design Practice**
 Leader



世界的なパンデミックにより、不変のものなど何もないこと、かつての確実性という認識は虚気楼にすぎなかったこと、デザイナーが最も知るべきであるということに気づかされました。インタラクティブなプレゼンテーションを通して、不確実性のためにデザインに対し“常に”私たちは何を備えるべきか、参加者の皆さまへ考察を導きたいと思っています。私たちの主な目的は、単なるデザインソリューションを提供するだけでなく、コ・クリエーションプロセスを通じて、クライアントにとってのニーズや期待や夢を明確にする手助けをすることです。デザイナーとは、人々を鼓舞する問題解決者であること、そして、現在と将来の不確実性を通して、私たちは依然として、“偉大、革新的、且つ有意義な”デザイン・ソリューションを提供する必要があることを認識する必要があります。

11:10 | コーヒーブレイク&ネットワーキング

11:40 | 人間らしい高層ビルとは？ 垂直型ワークプレイスの未来を形作る設計方法とは – シドニーQUAY QUARTER TOWER (QQT)事例から学ぶ

Fred Holt フレッド・ホルト
3XN Partner



豪州シドニーにあるQuay Quarter Tower (QQT)は、ワールド・アーキテクチャーフェスティバルとCTBUHによる2022年のワールドビルディングオブザイヤーに選ばれ、国際高層ビル賞も受賞しています。画一的な高層デザインの慣例を避け、シドニー商業ビジネスディスクリット中にコミュニティ指向の垂直型ビレッジを作り上げました。また、QQTは高層ビルにも拘らず人間味が加えられています。高さ206メートルのこのQQT商業タワーは、積み重ねられて移動する5つのボリュームで構成され、それぞれがアトリウムの周りに配置され、すべてが象徴的なシドニーハーバーに面する方向を向いています。アトリウムには、インフォーマルなミーティングエリアがあり、知識の共有と交流を促進してワークスペースを活性化させています。これは、建築家が行動を形作るという3XNの設計デザイン哲学に沿っています。各ブロックの基部には広々としたテラスがあり、タワーの「中心部」の中でも休息のためのスペースを提供しています。当セッションでは、受賞歴のある世界的に有名なQQT他、ロンドンと日本のその他の3XNプロジェクトを例に、ワークプレイスの未来への重要な要素とは何かを明らかにします。

12:25 | 仕事の未来をどうデザインするべきか

Jawn Lim 林智兴

Singapore Institute of Technology(SIT)
Design Futurist and Associate Professor

私たちは未来の不幸な犠牲者なのでしょうか？ それとも、自分たちの望む未来を目的論的にデザインできるのでしょうか？ デザインシンキングと未来思考が、先見の明の実践を通じて、仕事のペルソナ、ポリシー、職場の未来にどのような影響を与えることができるかを一緒に考察しましょう。従来の建築設計の実践を超えて、シグナル、ドライバー、予測、シナリオ設計について学びます。

13:10 | スマートビルディングとオフィスにおけるコネクティドアクセス体験

長窪 健也

HIDグローバル

Regional Sales Manager, Physical Access Control Solutions (PACS)

**13:15 | ランチ&ネットワーキング****14:15 | ハイブリッドなワークスペースは、社員のエンゲージメントを高めるのか**

荒井 聖一

シスコシステムズ合同会社

Hybrid Work Solution Specialist



現代のワークプレイスにおける物理的なオフィス空間とテクノロジーの相乗効果を探ります。テクノロジーをシームレスに統合し、ワーカーエクスペリエンスを向上させ、ハイブリッドな接続方法を促進させ、サステナブルなオフィスの使用を可能にするグローバルな新規設計と改修事例をご紹介します。革新的なアプローチにより、業務効率を最適化を図り、どのようにして優秀な人材を惹きつけ維持できるかを考察します。

14:45 | フレキシブル オフィスを実現する為の最適なオフィス ポートフォリオ設計とは

山本 清人

NTTコミュニケーションズ株式会社

Manager



コロナ禍以降、企業の働き方が大きく変革され、ハイブリッドワークが新たな常識となっています。オフィス内で従業員一人ひとりにデスクを用意する必要が減少し、オフィス環境の最適化に向けた取り組みが進んでいます。しかし一方で、リモートワーク下での生産性向上や従業員のエンゲージメントの確保が課題となっています。

このセミナーでは、NTTコミュニケーションズを含む最新のケーススタディをもとに、リモートワークに適した業種や業務の最適化について紹介いたします。

また、フレキシブルオフィスの効果的な活用事例も紹介し、ハイブリッドワークを円滑にするための最適なワークプレイスのポートフォリオについても考察します。

**15:15 | WORKTECH23 TOKYO 総括:
未来のワークプレイスをデザインする上で考慮すべきポイントとは**

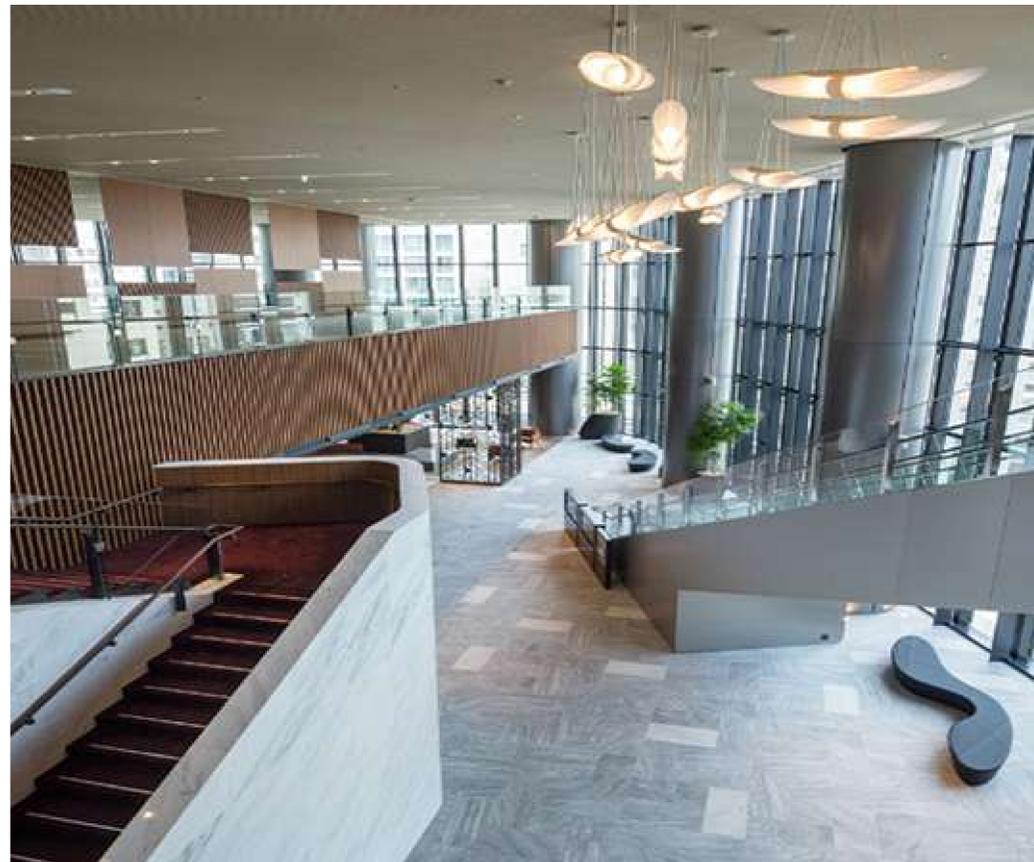
金森 裕樹

コクヨ株式会社 WORKSTYLE RESEARCH
LAB, Workplace Researcher and Editor

ハイブリッド及びリモートワーク、テクノロジーイノベーション、ワーカーエクスペリエンスや生産性に関する最新情報など、WORKTECH23 東京のセッションを統括し特に重要な知見についてまとめます。また、海外の先進的な事例に基づいて、ポストパンデミック以降のワークプレイス戦略において考慮すべき重要なポイントをピックアップします。

15:35 | クロージング WORKTECH主催者挨拶Isabel Dewhurst-Marks イザベル・マークス, Managing Director, WORKTECH Events,
UNWIRED Ventures Ltd**15:45 | ドリンク&ネットワーキング****16:15 | カンファレンス終了**

会場について



赤坂インターシティコンファレンス

政治の中枢・霞が関、美術館をはじめカルチャーの集積地・六本木、大使館や外資系企業も多い国際的なビジネスエリア・赤坂～虎ノ門。本施設は、それらの中心にあるランドマーク「赤坂インターシティAIR」の3F・4Fに位置します。

地下で直結する「溜池山王」駅、「国会議事堂前」駅の2駅3路線が利用可能。羽田・成田空港からは、近隣のホテルまでリムジンバス1本でアクセス可能で、国内はもちろん海外からのお客さまにとっても抜群の利便性を誇ります。

開放感あるエントランスを抜けると、そこには使い勝手にこだわった12のコンファレンスルームと、居心地のよいラウンジやKIOSK、お客さま一人ひとりに寄り添うコーディネーター。会議やイベントの合間には、グリーンを眺めたり、コーヒーを飲みながら語り合ったり。いつもとは違うアイデアや交流が生まれる、上質な空間と快適な環境。

それが赤坂インターシティコンファレンスが目指す“新しい会議施設のスタンダード”です。

アクセス

所在地

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR3F・4F

電車でお越しの方

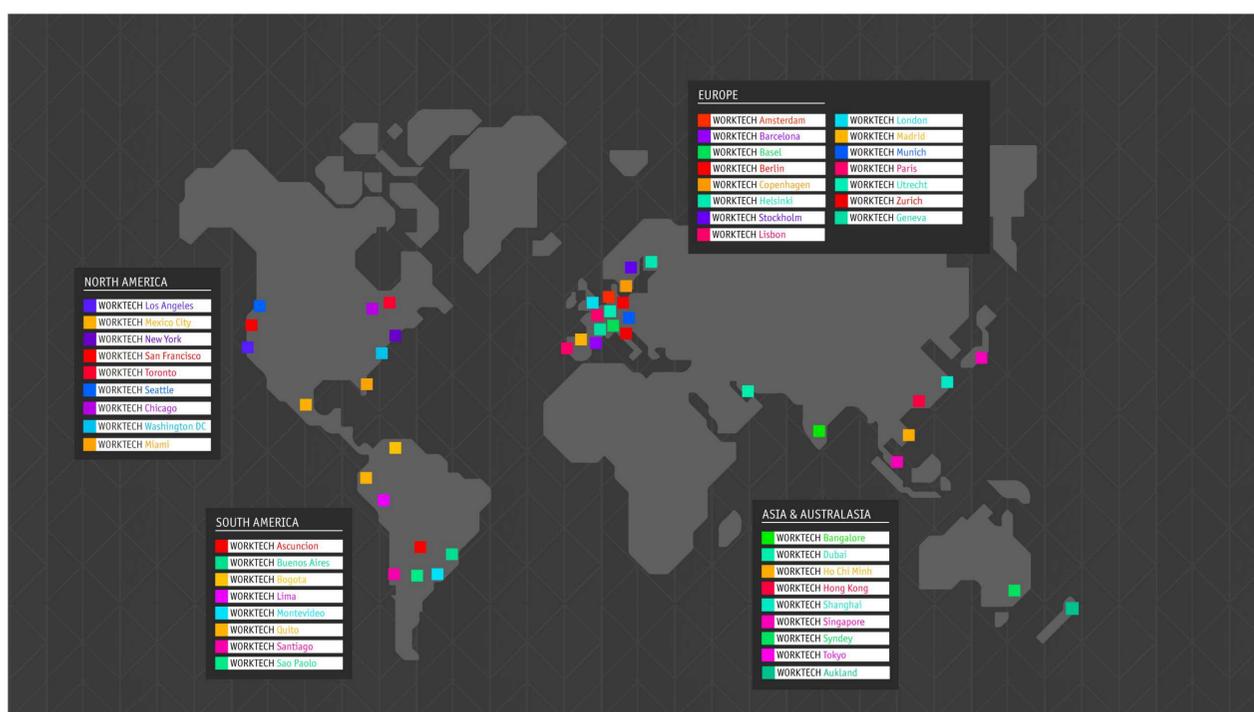
溜池山王駅（東京メトロ銀座線、南北線）、国会議事堂前駅（東京メトロ千代田線、丸ノ内線）14番出口から地下ネットワークで当ビル地下1階に直結。
9番出口からは地上で徒歩2分

お車でお越しの方：駐車場のご案内

溜池交差点を六本木方面に向かい、約40m程度先を左折。ビル案内表示に従いお越しくください。

WORKTECHについて

WORKTECHは、仕事とワークプレイスの未来について、認識を深め、変化を促し、スペシャリスト達のインサイトを提供することを目的とした総合的なリサーチ・プラットフォームです。当フォーラムは、2003年にフィリップ・ロス氏とジェレミー・マイヤーソン氏によって立ち上げられた初の業界特化型カンファレンスを母体としており、現在ではワークプレイス・インテリジェンスに関する世界有数のカンファレンスおよびリーダーシップシリーズとなっています。



今年で設立20年目を迎えたWORKTECHは、今や世界40都市以上に拡大し、フォーチュン500に名を連ねる先進的な業界のプロフェッショナルを集め、国際的な思想的リーダーから学び、仕事とワークプレイスの未来について話し合い、考察する場を提供しています。

[過去のWorktechイベント開催地については、こちらをご覧ください](#)

WORKTECHは現在、仕事とワークプレイスの未来に携わるプロフェッショナルのための主要な国際フォーラムであり、学際的な講演、双方向のディスカッション、創造性を高めイノベティブ思考の限界を押し広げるラーニング・エクスペリエンスを通じて、ワークプレイスコミュニティに新しいアイデアとインスピレーションをもたらしています。



企業のシニアエグゼクティブの意思決定者とのネットワーク

ワークプレイスの最新トレンドを知る機会

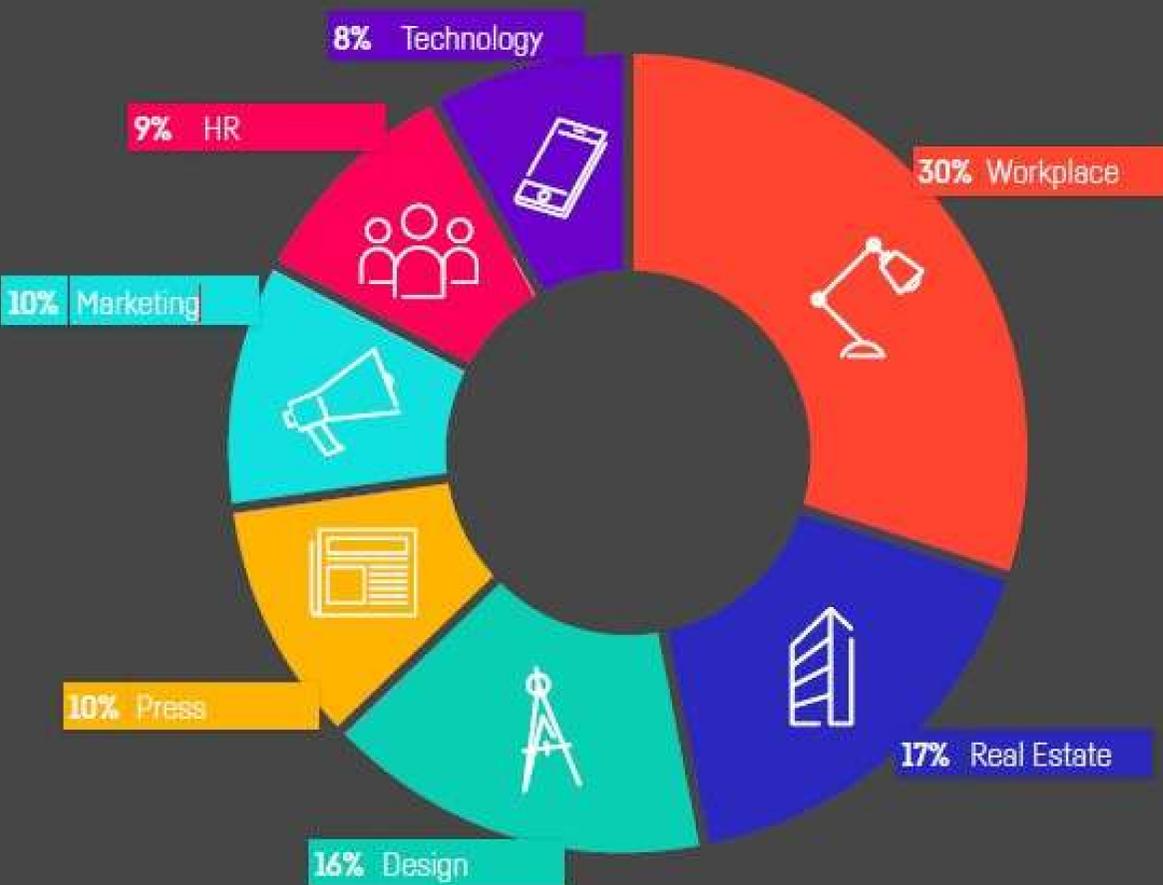


世界の思想的リーダーから話を聞く絶好の場

ベストプラクティスとイノベーションから受け取るインスピレーション



参加者 職種分布



非常に有益で、目からウロコの情報、価値があるカンファレンス

LEGO レゴ 参加者の声



有益で、インサイトに富み、よく計画され、
スピーカー陣も豊富。毎度新しい発見と出会えます！

UNILEVER ユニリーバ 参加者の声



参加申込は
こちら→

www.worktechevents.com/events/worktech23-tokyo